

ウエスト・サイド物語 (1961)

WEST SIDE STORY

メディア	映画
ジャンル	ミュージカル ドラマ 犯罪
製作国	アメリカ
色彩	Color
時間	152分
初公開日	1961/12/23
公開情報	U A
映倫	G
	1972/08 [U A]
	1973/06 [U A]
リバイバル	1974/11 [U A]
	1975/06 [U A]
	2002/12/28 [シネカノン]

【キャッチコピー】

ニューヨークから世界中に熱狂と興奮をまきちらしたダイナミックな迫力！最高・最大のミュージカル！

(2002年リバイバル時)

ダンス、音楽、永遠の青春――すべてのエンターテインメントの原点がここに！

【解説】

ニューヨークの下町を舞台に、イタリア系のジェット団とプエルトリコ系のシャーク団の無益な抗争と、その中で芽生える愛と悲劇を描いたミュージカル大作。『ロミオとジュリエット』の構図をウエストサイドのスラム街で展開させたストーリーはシンプルだが、とにかくにも唄と踊りのダイナミズムに圧倒される（振り付けは共同監督でもあるロビンス）。『クール』『トゥナイト』『アメリカ』など数々の名曲も素晴らしく、アカデミーでは作品・監督・助演男優（G・チャキリス）・助演女優（R・モレノ）・撮影・美術・音響・編集・衣装デザインの他、当然ながらミュージカル映画音楽賞を受賞した。そして何より、マンハッタンを見下ろした俯瞰図の導入部を始めとした、70mmの大画面を活かしきった画面構成が光っている。ソウル・バスによるタイトル・デザインも秀逸だ。2002年に<ニュープリント・デジタルリマスターバージョン>としてリバイバル上映された。

【クレジット】

監督	ロバート・ワイズ	Robert Wise
	ジェローム・ロビンス	Jerome Robbins
製作	ロバート・ワイズ	Robert Wise
	ソウル・チャップリン	Saul Chaplin
原作	ジェローム・ロビンス	Jerome Robbins
	アーサー・ローレンツ	Arthur Laurents
脚本	アーネスト・レーマン	Ernest Lehman
撮影	ダニエル・L・ファップ	Daniel L. Fapp
編集	トーマス・スタンフォード	Thomas Stanford
音楽監督	ジョニー・グリーン	Johnny Green
作曲	レナード・バーンスタイン	Leonard Bernstein
音楽	アーウィン・コスタル	Irwin Kostal

	シド・ラミン	Sid Ramin	
タイトルデザイン	ソウル・バス	Saul Bass	
出演	ナタリー・ウッド	Natalie Wood	マリア
	リチャード・ベイマー	Richard Beymer	トニー
	ジョージ・チャキリス	George Chakiris	ベルナルド
	リタ・モレノ	Rita Moreno	アニタ
	ラス・タンブリン	Russ Tamblyn	リフ
	タッカー・スミス	Tucker Smith	アイス
	デヴィッド・ウィンターズ	David Winters	
	トニー・モルデンテ	Tony Mordente	
	サイモン・オークランド	Simon Oakland	
	ジョン・アスティン	John Astin	
	ネッド・グラス	Ned Glass	